

「学園&地域交流ネットワーク」を2004年1月に結成してから早や8年が経過し、月刊「フレスターニュース」を発行してから、この4月で第100号を迎えることになりました。

私たちはこの間、「人にやさしい街づくり ひとりでできないことも、みんなつながればできる」をモットーに、障害者と地域住民との架け橋となることを願って障害者施設とボランティア活動を紹介する冊子を北九州市の助成を得て発行し、授産品バザーや交流会などを開催して参りました。

また、歴史遺産を生かした街づくりを目指して折尾の歴史遺産を紹介するガイドブックを発行し、折尾駅の保存活用を願ってシンポジウムを開催すると共に、北九州市長や市議会そしてJR九州本社への要請行動などを行ってまいりました。

そしてこれらの取り組みは、毎月発行する「フレスターニュース」で私たちの願いと活動を紹介し、さらに会員、非会員を問わず多くの方々からの意見や提案なども併せて掲載して参りました。

このたび第100号記念号を発刊するにあたり、会員及び会員以外の方々から、下記の内容で寄稿文を募り、「折尾の街づくり」に関して「フレスターニュース」紙上で、幅広く情報と意見の交流をさせていただくことにしました。

①『折尾の街づくり ～私の願い～』

(折尾の街づくりについての意見や要望、情報や体験談など)

②「学園&地域交流ネットワーク」へのメッセージ

当会の目的である「学園と地域の情報交換と相互交流」を進めていく貴重な手段として「フレスターニュース」が一層の役割を果たしていけるようにしていきたいと願っています。これからも、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ふじなか寛之

2月24日、九州共立大学にて、会場が混雑する大盛況のうちに八幡西区の団体を中心とするボランティアフェスタが開催されました。

会場では、約30ほどの団体の活動の紹介のポスターが所せましと壁に張り出され、案内チラシが配布されました。

八幡西区ボランティア連絡協議会の会長さんの挨拶の後、知的障がい者の方々からなる「チャンチャン劇団」の楽しい演奏や演劇、「やまびこの会」の風船バレーを実演紹介などで盛り上がりました。

そして、中学生や高校生のボランティア団体、各地域の様々なボランティア団体の自己紹介がなされ、会場から温かい声援を受けていました。

6人掛けの小さなテーブルを囲んで、初対面の方と話す機会もあり、私は八幡西区に、このようなボランティアがあるんだなあ、と感心しました。

学園&地域交流ネットワークでも、授産品バザーのチラシを配布させてもらったのですが、皆さん、大変興味を持ってもらってくれました。その中には「今度、行くね」と笑顔で答えてくれる方もいました。来年は、交流ネットとしても、壇上で自己紹介ができるように準備できたら良いなあ、と思いました。